

<p>【イベント名】 第15回 ラテンアメリカテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 コロンビアのボゴタ・ザビエル大学から、今回のテレカンファレンスの参加者全員へ祝辞を述べたい。ラテンアメリカと日本の重要な胃腸科施設に所属する医師と交流する、かつてはなかった機会を与えてくれた。我々の共通の問題である胃MALTリンパ腫について、病因や診断、治療に至るまでを議論した。癌における感染性病因としてよく研究されているピロリ菌が胃上皮の炎症を惹起し、その結果単クローン性B細胞増殖を起こす。希少疾患だが、多様な内視鏡像を呈するため熟練した内視鏡医でも見逃す恐れがあること、大部分が抗生剤で治療可能な悪性疾患であることを覚えておくことが重要である。</p>
<p>【期日】 2018.06.28</p>	
<p>【会場】 ボゴタ・ザビエル大学 (コロンビア), アレマナ病院 (チリ), コスタ・リカ大学 (コスタリカ), コスタリカ ガストロクリニカ (コスタリカ), メキシコ国立医学・栄養センター (メキシコ), フライ アントニオ アルカルデ市民病院 (メキシコ), サンパウロ州立大学 ボトゥカトゥ医学部病院 (ブラジル), カスカーフェル胃腸病院 (ブラジル), ミナスジェライス連邦大学 (ブラジル), J スクエアホテル (韓国), 大阪国際がんセンター (日本), 九州大学病院 (日本)</p>	



ボゴタ・ザビエル大学の会場の様子。

撮影場所：ボゴタ・ザビエル大学



モニターに映し出される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



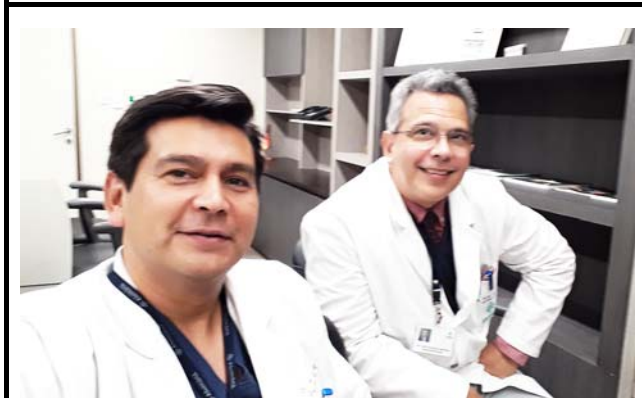
サンパウロ州立大学 ボトゥカトゥ医学部病院の会場の様子。

撮影場所：サンパウロ州立大学 ボトゥカトゥ医学部病院



ミナスジェライス連邦大学の会場の様子。

撮影場所：ミナスジェライス連邦大学



アレマナ病院から参加したDr. Cortes (左) とDr. Rueda (右)。

撮影場所：アレマナ病院



コスタ・リカ大学の会場の様子。

撮影場所：コスタ・リカ大学